

平成28年度 第5回全道シニアフットサル選手権大会

開催要項

- 1 主 旨 フットサル競技を通じ、北海道のシニア年代に冬季間の運動不足解消の場を提供するとともに、シニア年代のフットサルの普及・発展に寄与することを目的とする。
- 2 名 称 平成28年度 第5回全道シニアフットサル選手権大会
- 3 主 催 公益財団法人 北海道サッカー協会、一般社団法人 北海道フットサル連盟
- 4 主 管 一般社団法人 札幌地区サッカー協会、北海道シニアサッカー連盟
- 5 後 援 北海道教育委員会、公益財団法人 北海道体育協会
- 6 協 力 NPO法人 札幌フットサル連盟
- 7 期 日 平成29年3月4日（土）・5日（日）
- 8 会 場 札幌市豊平区体育館
- 9 参加資格 (1) 本年度（公財）日本サッカー協会に「フットサル1種」の種別で加盟登録したチームに所属している選手により、本大会のために構成されたチーム。
(2) 40部門については、1977年（昭和52年4月1日）までに生まれた選手によって構成されたチーム。
(3) 50部門については、1967年（昭和42年4月1日）までに生まれた選手によって構成されたチーム。
(4) 60部門については、1957年（昭和32年4月1日）までに生まれた選手によって構成されたチーム。
(5) 女子部門については、1982年（昭和57年4月1日）までに生まれた選手によって構成されたチーム。
(6) 全ての部門及び部門間の重複登録を認めない。
(7) 本大会フットサル登録料（2,000円）を、所属地区サッカー協会において納入完了していること。
- 10 参加チーム数 会場が限られていることから、予定チーム数（40部門24チーム・50部門10チーム・60部門・6チーム）を超えた場合には、前年度参加チーム及び40・50・60部門を優先し抽選とする。また、札幌地区の申し込みが多い場合は、札幌地区以外のチームを優先する場合がある。
- 11 大会規定 (1) 原則予選リーグ戦を行い、各グループ上位チームにより決勝トーナメント戦を行い順位を決定する。ただし、参加状況等により変更する場合がある。
(2) リーグ戦は、勝ち3点、引分け1点、負け0点により、勝ち点の多い順に順位を決定する。なお、勝ち点が同一の場合は以下の項目に従い順位を決定する。
① 当該チーム内の対戦成績（勝敗）
② 当該チーム内の得失点差
③ 当該チーム内の総得点数
④ グループ内での総得失点差
⑤ グループ内での総得点数
⑦ コイントス
(3) 大会中における棄権試合、または不正等が発見・確認された場合の試合結果は0対5とし、その後の処置については、大会規律委員会において裁定する。
- 12 競技規則 大会実施年度の（公財）日本サッカー協会フットサル競技規則による。
- 13 競技会規定 以下の項目については、本大会で規定する。
(1) 試合球はフットサル4号ボールとする。
(2) 靴はキャンパスまたは柔らかい皮革製で、靴底がゴム、または類似の材質で出来ており、接地面が紺色、白色、もしくは無色透明のフットサルシューズ、トレーニングシューズ、または体育館用シューズタイプのもの。（スパイクシューズおよび靴底が着色されたものは使用できない）

- (3) 競技者の数は5名。交代要員の数は7名以内。ベンチに入ることのできる人数は10名以内（交代要員7名、役員3名以内とする）
- (4) ユニフォーム
 - ① フィールドプレーヤー、ゴールキーパーは色彩が異なり判別しやすい正・副のユニフォーム（シャツ・パンツ・ストッキング）を参加申し込み書に記載。各試合に正・副ともに必ず携行する事。
 - ② その他ユニフォームに関する事項については、（公財）日本サッカー協会「ユニフォーム規定」を厳守すること。（ユニホーム規程はH K F Aホームページに掲載しています）
- (5) 試合成立の人数は、試合開始時に5名以上いること。
- (6) 交代要員は競技者と異なる色のピブスを用意し着用する事。
- (7) 試合時間は、各部門とも20分間（前後半各10分間）のランニングタイムとし、ハーフタイムのインターバルは2分間（前半終了から後半開始まで）とする。ただし、参加チーム数によっては、試合時間の調整をする。
- (8) 決勝トーナメントにおいて勝敗が決しない場合は、ペナルティーキック方式により、次回戦に進出するチームを決定する。
- (9) タイムアウトは適用しない。
- (10) 参加状況により競技方法及び試合時間の変更、また部門を統合する場合がある。

14 懲 罰

- (1) 本大会において退場を命じられた選手は、自動的に次の1試合に出場できない。本大会は本協会の「懲罰規定」に則り、大会規律委員会を設ける。
- (2) 大会期間中に警告を2回受けた選手は、次の1試合に出場できない。
- (3) 前項により出場停止処分を受けたとき、予選リーグ終了時点で警告の累積が1回のとき、または、本大会の終了のときに、警告の累積は消滅する。
- (4) 本大会終了時点で未消化となる出場停止処分は、当該チームが出場する直近の公式試合にて消化する。ただし、警告の累積によるものを除く。
- (5) その他、本大会の懲罰に関する事項については、本大会の大会規律委員会が決定する。大会規律委員会の委員長は大会委員長とする。

15 参加申込み
参加料

- (1) 参加申込書の登録選手数は25名までとする。
- (2) 申込締切日 平成29年2月8日（水）17時必着。
- (3) チーム参加料 16,200円（税込み）・・・下記④まで納入。
- (4) 審判不帯同料 16,200円（税込み）・・・下記④まで納入。
- (5) 参加するチームは所定の申込用紙により、所属地区サッカー協会に申し込むこと。申し込みを受けた各地区サッカー協会は、期日までに下記①②③までEメールにて送付すること。

① 〒062-0912 札幌市豊平区水車町5丁目5-41 北海道フットサルセンター （公財）北海道サッカー協会 TEL 011-825-1100 FAX 011-825-1101 ○参加申込書 1部 ○プライバシーポリシー同意書
② （一社）札幌地区サッカー協会 Eメール：taikai-sfa@sfa-rc.net TEL 011-531-7553 FAX 011-531-7553 ○参加申込書 1部
③ 北海道シニアサッカー連盟 事務局長 伊東 美智子 Eメール：smrs-ito@taupe.plala.or.jp TEL 090-3778-4706 FAX 011-778-9761 ○参加申込書 1部
④ 大会参加料・審判不帯同料振込先 北洋銀行 本店営業部 口座番号（普通）5278500 口座名 北海道シニアサッカー連盟 大会申込口

- 16 組合せ (1) (公財) 北海道サッカー協会において抽選を行い決定する。
(2) 組み合わせは、(公財) 北海道サッカー協会において抽選し決定する。なお、組み合わせ結果は(公財) 北海道サッカー協会の公式ホームページにて確認すること。
<http://www.hfa-dream.or.jp/> (大会情報・フットサル)
- 17 帯同審判員 (1) 参加チームは J F A 公認のフットサル審判員 (4 級以上) を必ず 2 名以上帯同させること。帯同する審判員の氏名、資格、連絡先等を参加申込書に記入。大会当日は審判証を提示すること。
(2) 選手・役員が審判員を兼務する場合は、審判業務を最優先とすること。
(3) 2 名帯同できない場合は、不帯同料16,200円を15.④に納入する事。
- 18 選手登録変更 (1) 選手の登録変更は、大会の 1 5 日前平成 2 9 年 2 月 1 7 日(金) 1 7 時までに、所定の変更届けにより、地区協会を通して Eメールにて15.①②③に届けること。
(2) (公財) 北海道サッカー協会への追加登録は大会の 1 5 日前、平成 2 9 年 2 月 1 7 日(金) 1 7 時までに当協会に登録を完了した選手とする。
- 19 監督会議 (1) 当日、監督が欠席の場合には、必ず代理をたてなければならない。必ず 1 名出席のこと。
(2) 期 日： 平成 2 9 年 3 月 4 日 (土) 午前 8 時 1 5 分
(3) 会 場： 豊平区体育館 多目的室
- 20 開 会 式 監督会議の終了後に行う。
- 21 閉 会 式 (1) 期 日： 平成 2 9 年 3 月 5 日 (日) 各部門の競技終了後に行う。
(2) 会 場： 各部門会場
- 22 表 彰 各部門の優勝チームには、優勝カップと賞状、準優勝チームには賞状を授与する。
- 23 負傷及び事故の責任 (1) 大会期間中の負傷及び事故の責任は当該チームが負うものとする。また、医師及び救急用品の準備は各チームの責任において行うこと。
(2) 大会参加にあたって、各チームは大会参加前にスポーツ傷害保険等の加入手続きを済ませること。
- 24 そ の 他 (1) 各チームの登録選手は(公財) 日本サッカー協会発行の電子選手証(写真が登録されたもの)をプリントアウトし、監督会議に持参すること。また、電子登録証が確認できない場合は、試合に出場できない。
(2) 参加選手は自己責任のもと健康状態には特に注意し、事前に医師の診断を受け、試合出場に支障のないことを確認のうえ、出場すること。
(3) 荒天・震災・雷等、不測の事態が発生した場合は、当運営委員会において協議のうえ、対処する。中断・中止・延期することがあることを留意すること。
(4) ピッチレベルでの飲食は禁止。競技時間中、ウォーミングアップ時間中を問わず、自分のベンチにおいて摂取可能な飲料は「水のみ」に限定する。
(5) 眼鏡：プラスチックまたは、類似の素材でできた最近のスポーツメガネ以外は認めない。さらにフレームレス及び脱落する可能性があるると審判が判断した眼鏡は認めない。